

## アソカ講話091

テーマ「人生に何一つ無駄なものはない ③」

渡辺和子氏著作の「幸せのありか」の中に次のような一節がある。

「私達は欲しいものを祈るのに対して、神様は要るものをくださいます。成功させてほしいと祈ったにもかかわらず失敗に終わることがあるのは、その時の私にとって、失敗を通して謙虚になることが、むしろ必要だったから」と。

神様はその人にとって必要なものを与える。それは一見マイナスに見えることでも、そのマイナスがその人にとって必要なものなら、そのマイナスはプラスに転化するものである。

私達の心の天敵は、「不平、不満、おごり、慢心」・・・謙虚さを失うことである。感謝を忘れてしまうことである。「謙虚であり続けよ」と神は時に試練や失敗を下さる。そして、「人の気持ちが分かるように」と悲しみを下さる。そう教えて頂いているように思う。

私達は「こうあってほしい」と願うことが多いが、常に神は必要なものを与えてくれるのだから、与えられたものに感謝しようという覚悟を決めることが未来への不安を無くしてくれる。結果は望むのではなく感謝で迎えるといい。なぜなら、人生に無駄なものは何一つないのだから・・・それが幸せの秘訣だと思う。